

南町民センター指定管理者クリーン・ローズの評価 【所管課:生涯教育課評価用】

目的	一般住民の学習、保育、休養及び集会の用に供するために設置された本施設を、地域住民で構成され社会奉仕活動を行う団体たる指定管理者が、その能力を活用しつつ、地域住民等に対する住民サービスの効果及び効率を向上させ、もって地域コミュニティや福祉の一層の増進を図ること
----	---

評価日:平成27年6月30日

評価対象期間:平成26年4月1日～平成27年3月31日

評価項目		評価視点	評価区分
1	施設の維持管理	・日常的な施設内外の清掃など利用者が気持ち良く利用できる環境を維持しているか ・定期的な巡回などで、危険箇所や異常を発見した際に、修繕や町への報告が速やかにされているか	可
2	利用者への対応	・町民の利用にあたり不公平が生じていないか ・利用日・利用時間の遵守が徹底されているか	可
3	施設運営の経費削減	・不用品電気・水道・電話などの使用を慎み経費削減に努めているか ・効率的な人員配置を行っているか	良
4	情報の管理・保護	・指定管理によって知り得た秘密や情報を外部に漏らしたり、他の目的に使用していないか ・個人情報に関する書類等の保管・保護が適切になされているか	可
5	災害時、緊急時に備えた危機管理体制	・開館時に警報が発令された場合、町と連携をとり適切な体制や処置がとれているか ・防災訓練を実施するなど、有事に備えた体制がとれているか ・館内で急病者が出た場合、適切な体制や対応がとれているか	良
6	団体の能力を活用した活動	・地域で構成された団体の特性を活かした活動を行っているか	良

【所管課の総合評価】

- (1) 地域の方々とのコミュニケーションを図るため、園児を対象とした抹茶サービス、アクリルたわしを作りながら高齢者との茶話会を実施するなど、地域の絆づくりにつながる事業を実施することができた。
- (2) 6人の管理人がそれぞれの得意分野を活かし、自主事業の実施、館内の清掃活動、花壇整備、パソコンを活用した情報の整理を行っている。
- (3) 年2回全員で消防訓練を実施し、危機管理意識を強く持ち、有事に備えた活動を積極的に行った。また、AEDの講習を受け、緊急時に慌てず対応ができるように備えている。
- (4) 南町民センターをより多くの人に活用してもらうため、町内のボランティア団体等に積極的に声をかけ、子育てフェスタなど、イベントの誘致を行った。

【選定委員会の意見】

- (1) 協定書及び仕様書、事業計画書に基づいた管理運営がなされており、所管課の評価を承認する。
- (2) 地域団体の利点を生かし、地域住民を対象とした自主事業の拡充やAED講習など緊急時に備えた危機管理体制においては特に評価できる。
- (3) 前年対比で収入となる利用料金が減少したなか、利用者数が増えた施設の運営については非常に評価できる。
- (4) 指定管理者が事業を継続していくうえで、今後、新公民館完成に伴い利用者が減少し、その結果、収入減につながる心配もある。町当局においては、自主事業による収入が見込めない町民センターを含めた公の施設全般について、利・活用の計画の策定を検討していただきたい。